

## 臨時総会議事録

日時等 2024年2月11日13時から、三谷公民館会議室

出席者 中村孝、正木、佐々木、小林、都築、稲垣、近藤、二村、  
安藤、河村、沢田、井上、ちぐさ、13名  
アクアマリン、ホーネット、ベベ、アルミス、うらなみ、ランナー、  
ダンシングビーンズ、スーパーウェーブ、ちぐさ、9艇

### 議題

#### 決算説明について

送付済みの決算案について説明。

収支トントンで推移している。繰越残金は579,451円です。

説明後、特に質問なく決算案は承認されました。

#### 役員改選について

中村から会長改選の要望を説明し討議した。

MCCの現状からMCCどうすべきか、

MCC50年、当初は蒲郡ヨットハーバー契約艇で組織され50艇を超す艇で組織されていた。会員については強制はなく次第に組織から離れていく契約艇が増え、会の行事もレース主体にレースに参加しない艇が離れていきました。

レース以外の行事を実施しても参加するのは同じメンバー、レース参加艇です。

レース参加しない艇は艇のメンバーも少なく遊びも集団での行動が苦手のように。

ここ最近ではレース以外の行事、クルージング、ランデブーも実施していません。

蒲郡マリンカップレースがBBQを交えての唯一の親睦行事です。

長い間、中村が会長でレース、行事、会報、会計をまとめてきましたが身を引かせてください。

レース参加艇も少なくなってしまうMCC単独レースでは3-5艇ほどの参加しか望めません

今後、MCCレースをMCCをどうしていくかを考えなければなりません

MCCは必要か、MCCレースは必要か

ラグーナ合同レースはラグーナ、MCC以外は参加できずMCCなくなれば外洋東海レースしか参加の機会はなくなると思う。蒲郡マリンカップは実行委員会単独で開催できる。

MCCの目的は？目的に沿った活動はできていないのでは。必要あるのか？存続継続するかどうか不要論も出たが出席者採決で存続を決定し、レースは継続開催します。

役員陣容をどうするか？中村改選を要望したがレース、会計役員、実行委員を充実させ任期2年間は継続、まずは存続継続です。

役員はレース委員長にホーネット正木、会計委員長にはスーパーウェーブ井上を選出しました。

ほかの役員は原則留任いただきます。

レースコミッティーは4月スーパーウェーブ、5月ダンシングビーンズ、6月ベベ、10月ホーネット、11月ちぐさで決定。レース担当を決めて散会しました。

追加、レース副委員長は佐々木、ホーネットに依頼。総務委員長は中村（正）うらなみに依頼。

MCC50周年記念行事を検討したい。

近藤副会長、猪股行事委員長、中村総務委員長にとりまとめをお願いしました。